

学校統廃合はやむを得ないか？

七〇歳児の減少が止まりません。学校統廃合はやむを得ないという考えが支配的です。本当にそうでしょうか？

少子化でも統廃合しない長井市

れるのは明白で、コミユニティーが守れなくなる。

長井市の「教育改革」は、少子化と人口減少でも、「小学校を統廃合しない」

「地域から学校がなくなることは、若い世代の流出につながりかねない」
「若者がいない状況では、地域の活力が失わ

複式学級による子どもの学力低下を心配する声があったが、教育課程特例校制度を活用して、6年生が英語のスピーチを行うなど、複式学級だから学力が下がる、ということはない。
山形新聞2025年12

月12日掲載「鼎談」

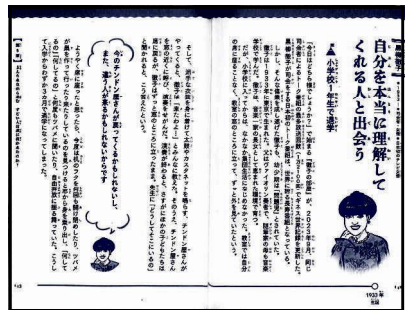


黒柳徹子さん「小学校3ヶ月で退学」

黒柳徹子さんは、小学校に入って集団になじめず、わずか3ヶ月で退学。

自由が丘にあるトモエ学園に入学し、10人以下の少人数学級で、子どもの個性を尊重する教育をめざしていた。校長先生から「君はほんとうはいい子なんだよ」と言われた。この言葉のおかげで、自分に自信を持ち、のびのびと学校生活をお

くることができた。



ジョン・デューイ「学びは豊かな自然環境」

20世紀に、教育に最も偉大な影響を与えたジョン・デューイ。

「子どもの頃は、学校は楽しい場所ではなかった。生きた学びを感じたのはむしろ学校の外で、家族と田舎に出かけ、豊かな自然環境の中でよく遊んだ。

ちょうど新しく公立図書館が設立され、図書館に通って勉強した。」



岩波新書の「ジョン・デューイ」

エミール「集団を否定」

近代教育学の古典・ルソー「エミール」は、1対1の教育で、子どもの個性と自然体験を尊重し、集団を否定しています。

「人間は、あらゆる動物のなかで群をなして生活するのにいちばんふさわしくない動物だ。羊の群れのようにひしめきあっている人間はすべて、たちまちのうちに滅びてしまうだろう。」



スマホ普及で「赤ちゃんいらない」現象

「スマホの普及とともに若者の対面時間が激減し、出産したいという欲求が減っている」「怖いのは、「破局」が静かにやってくることだ。戦争も疫病も災害もいらない。ただ今の出生率があと数十年続くだけでそれは訪れる。学校が統廃合され、地方の産婦人科が閉まり」 PRESIDENT Online 池田和加



世界中で、デジタル化が少子化に影響を及ぼしている警告です。学校統廃合や、デジタル教育ではなく、子どもの自然体験を！



新入生9人の渡前小学校入学式。3年後(令和11年)に統廃合で廃校か？(4/9)



新入生7人の東栄小学校入学式。3年後(令和11年)に統廃合で廃校か？(4/9)

渡前小子ども獅子踊り今昔物語 子ども獅子誕生秘話④

渡前獅子踊り保存会 太田 功



初代獅子踊りの衣裳は、担任や保護者の工夫の連続

獅子が被る幕は婦人服スーツ地にグレイドアップし、丈は程よく仕上がり、保護者は表にアクリル絵の具で、左三つ巴の紋を描き始めた。

太鼓役の衣裳にも前面に同じ紋を塗りこんだ。

当時児童の授業がほぼほぼ獅子踊りに充てられ集中していたが、保護者もまた、夜のスポ少の時間などを活用し、創意工夫が湧いてくるのだった。

担任はざるに続き、獅子頭全体を覆う山鳥の羽根を求め、ホームセンター行脚し、黒塗

りの高級車を撫でる毛ばたきにたどり着いた。今だと10万円は下らないオーストリッチの本格仕様には手が出なかつたものの、ブラインド羽根を掃除するよくな安物を見せてくれた。

羽根がもつとあればと懇願され、筆者は当時、物産販売で付き合のあった八栄島ファームの太田恵美さんから赤茶系の鶏の羽根を大量に譲り受けた。

自宅で洗濯し、乾燥機で仕上げたまではよ

かつたものの、扉を開けた途端、家中に羽毛が舞い上がり、家族にひんしゆくを買った苦い思い出がある。

その挽回ではなかつたが、獅子の口元の毛を入手することになった。

サラブレッドのたてがみが、ざる仕様の頭に付くとは。…(つづく)



政治に批判の声を

イスラエルと示し合わせてイランに軍事攻撃を始めたアメリカ・というよりトランプ大統領。当然の事ながらGセブンの同盟国からも国連憲章に違反していると言われている。しかし、一向に非難に應えるどころか、非難した者に制裁を言う大統領はデタラメの極みと言ってしまうが、こんな大統領に注意も反対も、ましてや辞めろと言えない我が日本の首相だ。5歳の孫からトランプって戦争好きなんだねって言われたとある新聞に出ていたが、日本の首相にはそれが戦争だと言う認識がないのだろうか。

の演奏に合わせて踊ったンダよ。こんな状況を世界中では、首相って言うより日本をどう思っていると思う？なんか取り返しの出来ないことが起きたように感じるんだが。今の世の中ヘンです。戦争を起こした者は悪い事をしたのですが、小さくなっていません。軍事行動を起こせば反撃します。それは誰が見ても戦争です。

春信
春の季節は多くの花が咲き 多くの鳥の鳴く声が聞こえる。
四方ながめると いつも頂に雲に邪魔されて見えない
鳥海山の勇姿な霊峰を時に見る。
世の中のようにすは昔のまま 私も依然として変わらないでいる。
いま田や畑で一斉に鳴く蛙の合唱が聞こえる。



城貞(藤の花)

春序 繁花 鳥語 譁し
北山 長く是 雲を被りて遮らる
物情 好在 吾も還 爾り
乱吠 齊しく鳴く 田圃の蛙

春信 春が来た知らせ。春序 春の季節。繁花 多くの花。鳥語 鳥のさえずる鳴き声。譁 さわがしい。
北山 鳥海山。被 頭上にいただく。遮 おおいかくす。物情 世の中のようにす。好在 昔のまま。還 依然として。爾 そのとうり。乱吠 さかんに鳴く。
齊 一斉。田圃 田や畑。

▲そんな大統領も首相も政治の先頭に居る国の責任者なのだから困るよナ。そんな首相は、戦争を起こした大統領の夕食会で軍楽隊

▲しかしそれをNHKは、軍事侵攻って言っています。米大統領は、イランを石器時代にすると脅しています。これを「ナンという事を」って咎める声が世界にはありません。自分の気に入らなければ脅し、拉致し、襲い、政治を転覆させる。これがトランプの民主主義で、アメリカ第一主義なのだ。これがまた日本が民主主義の手本としてきたアメリカの姿ですよ。(石川)